

目 次

新版はじめに
主な略語・単位

第 I 部 地球社会の抱える問題群

① グローバル化と格差——より良き未来を探る——	2
①-1 人の移動と格差	9
①-2 太り続ける人類と「健康格差」	10
② 途上国の貧しさ・先進国の貧しさ——その原因を探る——	11
②-1 臓器取引	19
②-2 子どもの貧困と貧困の連鎖	20
③ 国際援助という問題	21
③-1 データをどう読む？	29
④ 多発する紛争と資源収奪	30
④-1 紛争が生み出す難民	36
④-2 兵士にされる子どもたち	37
⑤ 安全保障と軍事	38
⑤-1 地域統合と平和	46
⑤-2 世界で増え続けるヒバクシャ (Hibakusha)	47
⑥ 気候変動と私たちの暮らし	48
⑥-1 原子力発電と環境	55
⑥-2 「地球温暖化」論・再考	56

7 企業の活動と人権——国連の取り組みを中心に——	57
7-1 債務労働——借金を背負って働く	65
7-2 健康と知的財産権——HIV/AIDS 薬品をめぐる	66

第Ⅱ部 持続可能な社会の構想

8 持続可能な社会をめざして	68
8-1 地域のエネルギー資源が地球を救う	76
8-2 国境を越える有害廃棄物	77
8-3 海洋環境管理のための自治体ネットワーク	78
9 先住民と環境	79
9-1 先住民と知的財産権	87
9-2 内モンゴルの開発と社会	88
9-3 エコツーリズムとは何か	89
10 食料安全保障	90
10-1 牛丼が消えた日	99
10-2 環境にあふれる非天然化合物	100
11 生物多様性条約——自然と共生する社会の創造をめざして——	101
11-1 遺伝子組換え生物と生物安全 <small>バイオセーフティ</small>	110
11-2 外来生物	111
11-3 資源としての鯨と文化	112

第Ⅲ部 多文化共生の時代

12 異文化交流・理解の試み	114
12-1 多民族社会ハワイにおける日系人の盆踊り	122
12-2 「ヒジャブ」が日本のファストファッションに出現！	123

12-3	日本で暮らすムスリムが行う地域交流	124
13	留学と国際関係	125
13-1	日本への関心と日本語教育	132
14	ことばの多様性と文化	133
14-1	日本も多民族・多文化・多言語社会になる？！	141
14-2	日本の日系ブラジル人コミュニティ	142
15	教科書に書かれた日本の戦争	143
15-1	東アジアの平和を展望し、相互理解を深めるために	152

第Ⅳ部 21世紀の潮流

16	人間の安全保障	154
16-1	保護する責任 (Responsibility to Protect)	162
16-2	日本の医療支援	163
17	進化する国連の平和活動と平和構築の取り組み	164
17-1	持続可能な開発目標 (SDGs)	172
18	NGO による開発支援の変化 ——先進国 NGO の 5 世代理論と現在の動向——	173
18-1	アフガニスタンの現在	181
18-2	NGO ——国連への貢献——	182
18-3	ムスリムの NGO	183
19	社会的企業	184
19-1	日本の社会的企業	190
20	グローバル化と社会福祉の変容	191
20-1	新しい社会を切り拓く北欧	198

⑳-2	日本に来る外国人看護師・介護士	199
⑳-3	ブータンの「国民総幸福（GNH）」——新たな社会福祉に向けた示唆	200

第Ⅴ部 環境と平和の世紀へ

㉑	核のない世界へ	202
㉑-1	原爆の無差別な被害に巻き込まれた人たち	210
㉑-2	平和教育の現実	211
㉒	より公正な地球社会をめざして ——国際連帯税と世界社会フォーラムを中心に——	212
㉒-1	フェアトレード（公正貿易）	220
㉒-2	ジェンダーと国際関係	221
㉓	グローバル市民社会の可能性	222
㉓-1	インターネットと市民社会	229
㉔	トランプ政権期からの環境と平和 ——環境平和学というチャレンジ——	231

執筆者・訳者紹介